ツーリングモニタ取付説明書

HONDA FORZA Z 編

目次

１．同梱物の確認　・・・・・・・・・・・・・・・・　２
２．取り付けに必要なもの　・・・・・・・・・・・　２
３．注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
４．外装部品の取り外し（燃料噴射信号関係）　・・　３
５．燃料噴射信号コードの接続　・・・・・・・・・　２１
６．外装部品の取り外し（回路部本体関係）　・・・　２４
７．回路部本体ボックスの取り付け　・・・・・・　３０
８．電源・スピードパルスコードの接続　・・・・　３１
９．モードスイッチコード・ウインカー信号コード
ヘッドライトリレーコードの接続　・・　３２
１０．エンジン点火信号コードの接続　・・・・・・　３５
１１．ヘッドライト非常点灯スイッチの取り付け　・　３７
１２．温度センサの取り付け　・・・・・・・・・・・　３８
１３．燃料噴射信号コードの取り回し　・・・・・・　３９
１４．コネクタの接続　・・・・・・・・・・・・・・・　４０
１５．動作チェック　・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
１６．液晶表示部の取り付け　・・・・・・・・・・・　４２
１７．完成した様子　・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

山形 紀樹
2006.12.01

1. 同梱物の確認

送られてきたものに不足がないか確認してください。
不足がありましたら恐れ入りますがメールにてご連絡ください。

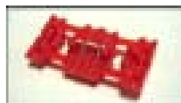
①ツーリングモニタ本体基板 (ボックス入り、両面テープ付き)
②液晶表示部 (ケーブル・マジックテープ付き)
③温度センサ (ケーブル付き)
④コード1 (赤・黒・白)　電源・アース・スピード
⑤コード2 (黄・青・灰・茶・緑)　エンジン・ウインカー・燃料・モード
⑥コード3　ヘッドライトコントロール・4Pコネクタ付き (桃・水色・黒2本)
⑦コード4　ヘッドライトコントロール非常点灯スイッチ (桃・橙)
⑧コード5　燃料噴射装置信号コード　片側細端子メス・保護チューブ1m付き (灰色)
⑨液晶表示部取付ステー (両面テープ・マジックテープ付き)
⑩液晶表示部コード止め具　2個
⑪自己融着テープ約10cm、結束バンド5本、取り外し可能結束バンド1本
自己融着テープは縦に半分に切り、燃料噴射信号コードとエンジン点火信号コードの接続に使用します。
結束バンドの3～4本は燃料噴射信号コードの固定に使い、1本は温度センサの取り付けに使います。
取り外し可能結束バンドは、フロントカウル内でコード類を束ねるときに使用します。
⑫コード保護チューブ4本 (コード1用35cm・コード2用40cm・コード3用50cm・コード5用50cm)
⑬ツーリングモニタ取扱説明書
⑭ツーリングモニタ取付説明書 (この冊子)
⑮配線加工場所図(配線図)

2. 取り付けに必要なもの

取り付けに必要なものはほとんど同梱していますが、工具等以下のものをご用意ください。

・一般工具
プラスドライバー　大・中　　マイナスドライバー
ペンチ　　ニッパ
ボックスレンチ　10mm・12mm　　六角レンチ　5mm
精密ドライバー

・燃料噴射信号・エンジン点火信号コード接続用工具
半田ごて・ヤニ入り半田・カッターナイフ　　ビニールテープ
(半田付けをしない場合は工具は必要なく、右の写真のような、市販の分岐用結線コネクタ2個を用意してください。)



・ヘッドライト非常点灯スイッチ穴加工用工具
ドリル　　半丸ヤスリまたはリーマ

・燃料噴射信号コード引き出し用
針金

・液晶表示部取付位置決定用
糸

3. 注意事項

・パーツの名称はサービスマニュアルに記載してあるものを記載していますが、一部独自のものもあります。
・作業に取り掛かる前に、取付説明書を一通り読むことをお薦めします。

4．外装部品の取り外し　(燃料噴射信号関係)

①シートヒンジカバーの取り外し

① 燃料噴射信号は、燃料噴射装置近くのコードから取り出すほかに方法がなく、そのため、ラゲージボックス（トランク）を取り外す必要があります。少し手間がかかりますが、説明書どおり進めれば難しくありませんので頑張ってください。では、始めます。
　シートヒンジカバーはフロントシートの前にあり、タイヤ空気圧のラベルが貼ってある写真矢印の黒色プラスチックの部品です。



② フロントシートを開き、シート裏のヒンジに近い場所に、プラスのスクリュがあります。これがシートヒンジカバーを止めているスクリュなのでドライバーで外します。



③ シートを閉め、シートヒンジカバーを外します。シートヒンジカバーは写真の矢印の部分裏側にスナップフィットクリップというバネ状のクリップが穴に刺さっています。このスナップフィットクリップは、プラスチック製シートヒンジカバーの突起に取り付けられているので、斜め方向に力を加えると、シートヒンジカバーの突起が折れる場合があります。できるだけ真っ直ぐ上方に引き抜いてください。
　写真のように手をかけて、片側を少し持ち上げてから、上方に引き上げます。前方にツメが出ているので、少し引っかかります。



④ シートヒンジカバーを外したところです。裏側から見たところですが、下の矢印2箇所の突起がスナップフィットクリップです。
　「6．外装部品の取り外し（回路部本体関係）」の①ー③（24ページ）にスナップフィットクリップの拡大写真がありますので参考にしてください。
　上の矢印は、横に張り出したツメです。



⑤　シートヒンジカバーを取り外すと、シートヒンジの金具が見えます。



②バッテリカバーの取り外し

①　シートを開け、中のラゲージボックスマットを取り外します。



②　ラゲージボックス（トランク室）前方にバッテリカバーがあります。写真のようにドライバー大でスクリュを外します。



③　バッテリカバーの下部にタブがあるので、これを持ち上げるようにして外します。



③ダンパユニットの取り外し

① ラゲージボックス（トランク室）内の前方にシート開閉用のダンパユニットがあります。ダンパユニットを止めているB-クリップを写真のようにペンチで引き抜きます。



② ワッシャーを外し、ダンパユニットを右にずらして軸から抜きます。
（注）この状態になると、シートを支えているものがなくなり、シートが勢いよく閉まる場合があるので注意してください。



③ ダンパユニットの下側は溝に入っているだけで、特に止められていないので、上方に引き抜くことができます。



④フロントシートの取り外し

① シートヒンジカバーを外した場所に、フロントシートヒンジを取り付けているボルトが見えるので、これを外します。ボルトの頭は10mmで、2本あります。外したボルトをフォルツァのボディー内に落とすと、取り出すためにかなりバラす羽目になるので、落とさないように注意してください。



② ボルトを外すと、フロントシートは簡単に外すことができます。



⑤リヤシートの取り外し

① リヤシートはシート前方２箇所でグロメットにより固定されていますので、上方に引き抜きます。



② この状態で、前方に引っ張ると外すことができます。



⑥リヤスポイラの取り外し

① シートロックケーブルカバーを取り付けている２本のスクリュを取り外します。



② シートロックケーブルカバーを取り外します。



③ シートロックを取り付けている10mmのナットを2箇所取り外します。



④ トランクライトスイッチケーブルを止めているワイヤバンドからケーブルを取り外します。



⑤ リヤスポイラを取り付けている矢印の12mmボルト4本を取り外します。これで、リヤスポイラを取り外すことができます。



⑥　シートロック部にあるトランクライトスイッチコネクタを外します。



⑦ボディカバースカートの取り外し

①　左ステップ後方、エアクリーナ上部にあるスクリュを外します。



②　ナンバープレート左側上部にあるスクリュを外します。
　ボディカバースカート右側にも、ナンバープレート右側上部（写真の場所と左右対称の位置）にスクリュがあるので外します。



③　ボディカバースカート右側前部のスクリュは、写真の位置の隠れた場所にあります。これも取り外します。左右合わせて4本のスクリュを取り外します。



④　スクリュを取り外したら、ボディカバースカートを矢印の方向にずらすように引っ張ると、取り外すことができます。



⑧左ボディカバーの取り外し

①　写真矢印の大きな部品が左ボディカバーです。反対側は右ボディカバーです。この二つを外します。



②　左ボディカバー前部にあるスクリュを取り外します。



③　左ボディカバー上部中央にあるトリムクリップは、中央部分をドライバーなどで押すと、引き抜くことができます。取り付けるときは、中のピンを引き抜いた状態で、ボディカバーに押し込み、後でピンを差し込みます。



④　左ボディカバー後部にあるスクリュを取り外します。これでスクリュ類の取り外しは終わりですので、下の写真のグロメットや、スナップフィットクリップ部分に注意をして左ボディカバーを取り外します。



⑤　グロメットは写真の場所2箇所にあります。



⑥　スナップフィットクリップは写真の前方2箇所の矢印の位置にあります。後ろ矢印の場所で、リヤボディロアカバーとも引っかかっているので、注意してください。



⑦　④で外したスクリュの穴の横、裏側には、リヤボディロアカバー（テールランプ下のプラスチックカバー）とボディカバーを固定するための突起があるので、ボディカバーを取り外すときに注意してください。この突起は右ボディカバー側にもあります。



⑧　上部は写真の場所でフック状に引っかかっています。



⑨右ボディカバーの取り外し

①　右側も左側と同様に取り外します。スクリュは左側と対称の位置にありますが、トリムクリップは右側にはありません。
　グロメットは写真の位置に２箇所あります。



②　スナップフィットクリップは写真前方の位置２箇所にありますので、突起を折らないように引き抜いてください。後ろ矢印の場所で、リヤボディロアカバーにも引っかかっているので注意してください。



③　上部は写真の矢印の位置で引っかかっています。

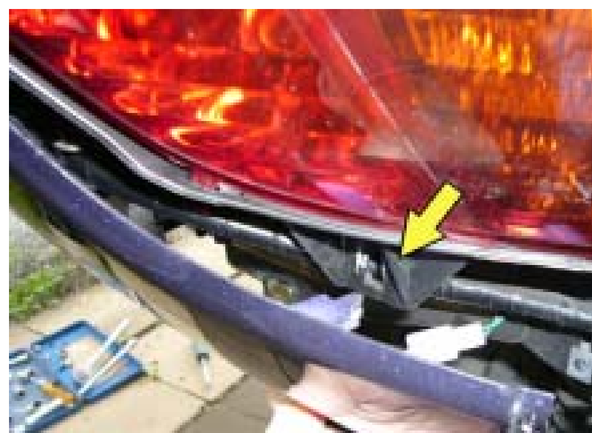


⑩リヤボディロアカバーの取り外し

① 写真の部品がリヤボディロアカバーです。
テールランプの下、矢印の内側にスナップフィットクリップが２箇所あるので突起を折らないように引き抜きます。



② 右の写真のように左右とも引き抜きます。



③ リヤボディロアカバーの上部はリヤボディアッパーカバーにスナップフィットクリップで刺さっていますので、下向きに引き抜きます。



⑪レシオコントロールユニットコネクタ他コネクタ類の取り外し

① 車体左側後部にレシオコントロールユニットがありますので、接続されているワイヤをコネクタのツメを押して外します。



② 車体の後ろ側をぐるっと回っているので、バンドを外して、ワイヤを外していきます。



③ 後ろ側も外し、車体の右側に垂らしておきます。



④ 右テールランプの下にテールランプのコネクタがあるので外します。



⑤ リヤフェンダからライセンスライトのケーブルが出ているので、そのコネクタを外します。



⑫リヤフェンダの取り外し

① 写真の矢印の10mmのボルトを外します。右側にもあるので、これも外します。



② ライセンスライトの上のボルトを外すと、ボロッとリヤフェンダが落ちてきますので支えながら外します。



⑬バッテリとその周辺部品の取り外し

① 写真矢印の2本のスクリュを外し、バッテリホルダの上にあるカプラ類を取り外した上でバッテリホルダを取り外します。



② バッテリのターミナルボルトを外します。必ず、マイナス端子側から外します。写真はマイナス側ターミナルボルトを外しているところです。マイナス側ターミナルボルトを外したら、同様にプラス側を外します。



③　ターミナルボルトを外したら、バッテリの取っ手を持って、バッテリを外します。



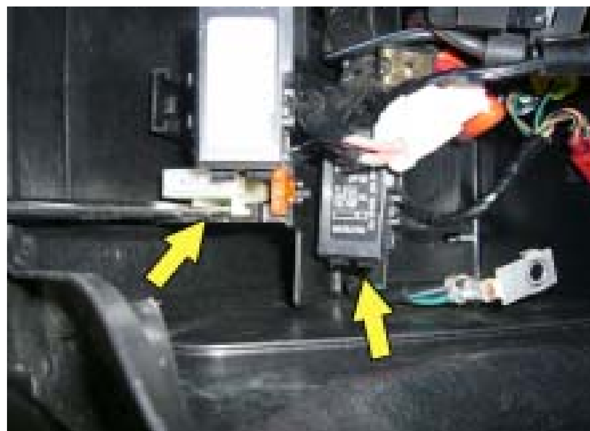
④　写真矢印のスタータリレースイッチを上に引き抜き、ホルダーから外します。これも作業を楽に進めるためです。



⑤　ヒューズボックスAを引き抜きます。ヒューズボックスAはツメが引っかかって固定されているので、写真のようにマイナスドライバーを差し込んで、ツメを押しながら引き抜きます。



⑥　同様にヒューズボックスB、メインヒューズを引き抜きます。



⑦　写真のスクリュを外し、アッパヒューズボックスベースを取り外します。



⑧　写真のようにアッパーヒューズボックスベースを上に引き抜くことができます。



⑨　写真の2本のスクリュを外し、ロアヒューズボックスベースを取り外します。



⑩　赤に緑線のコードの出ている白いカプラーを外します。外さないといけない訳ではないのですが、ラゲージボックスを取り外すときに、カプラーが分離されている方が作業が楽です。



⑪　スタータリレーのコネクタを外し、スタータリレースイッチを取り外します。これも作業を楽に進めるためです。



⑭受信ユニットの取り外し

①　ラゲージボックス内中央に受信ユニットの格納部があります。まず、スクリュ2本を外してラジエータメンテナンスリッドを取り外します。



②　受信ユニットを取り付けているスクリュを外します。



③　緑色の5Pカプラを外し、受信ユニットを取り外します。



④　コードを車体に固定しているゴムブッシュがあるのでこれを外し、コネクタをラジエータキャップのある方へ、移動しておきます。



⑮トランクライトの取り外し

①　トランクライトは、写真のように右側に指を引っかけて手前に引っ張ります。爪を剥がさないように注意してください。



②　このように外れてきますので、コネクタを外して取り外します。



⑯フューエルリッドの取り外し

①　フューエルリッド後方にあるスクリュ２本を外します。スクリュを取り外すときにボディ内部に落とすと、取り出すのにかなりの部品を外す羽目になりますので、落とさないよう十分注意してください。



② フューエルﾘｯﾄﾞを取り外します。取り外すときにロックがかかっていますので、少し引っかかりますけれども、少しカタカタ動かすと取り外すことができます。



⑰ラゲージボックスの取り外し

① いよいよ最後のラゲージボックスの取り外しです。ラゲージボックスをとめている10mmのボルﾄを外します。まず、前方にある2本を外します。写真は左側のボルﾄを外していますが、右側にもあります。



② 後方のボルﾄも外します。これも左右にあります。



③ 矢印の部分にも、左右2本のボルﾄがあります。これでボルﾄの取り外しは終わりです。



④　ラゲージボックスは前方のフロントシートヒンジを固定していたスクリュ穴（左側の矢印２箇所）に引っかかっているのでラゲージボックスを浮かせて外します。右側の上下矢印２箇所はツメで引っかかっているのでこれも外します。



⑤　中にはこんな突起もあるので、やや外しにくいです。



⑥　ラゲージボックスはリヤボディアッパーカバーやリヤコンビネーションライト（テールランプ）類と一緒に外すことができます。上記のツメや突起などに注意をしつつ、バッテリ周辺のケーブル類をボックス外に出しつつ、後方に引きながら持ち上げると外すことができます。



⑦　ようやく、取り外しが終了しました。お疲れ様でした。



5．燃料噴射信号コードの接続

①燃料噴射装置の確認

① シリンダヘッド部後方の写真矢印の部品が燃料噴射装置です。



② コネクタ部にテープが巻いてあるので外し、コネクタを外します。



②燃料噴射信号コードのハンダ付け

① 燃料噴射装置へのコードには黒いビニールの保護チューブが被っているので、これをニッパなどを用いて写真のように切り取ります。保護チューブ内部には燃料噴射装置へのコードが2本入っていますので、傷つけないようにしてください。



② 燃料噴射装置へのコードは桃色に青線の入ったものと黒色に白線の入ったコードの2本があります。桃色に青線の入ったコードが燃料噴射装置への信号線なので、このコードのビニール被覆をカッターで、中の導線を痛めないように注意しながら、丁寧に剥きます。

市販の分岐用結線コネクタを使用する場合は、コードの被覆を剥かずに、桃色に青線のコードから分岐してください。



③　ツーリングモニタに付属している、コード5（灰色の燃料噴射信号用コード）の端子が付いていない方の被覆を先端から15mm程度剥き、燃料噴射装置への桃色に青線の入ったコードの被覆をはがした部分に巻き付けます。
　このとき、コード5に付属の保護チューブが被っているか確認してください。ハンダ付け後に気付いた場合はギボシを取り外すことになり面倒になります。



④　導線を巻き付けた部分をハンダ付けします。



③テープ巻きと仕上げ

①　ハンダ付けした部分に付属の自己融着テープを縦に半分に切断したものを巻きます。コードのビニール部分から、テープとテープが重なるように貼り、水分の浸入がないようにします。残り半分の自己融着テープはエンジン点火信号コード接続に使います。
　市販の分岐用結線コネクタを使用した場合も、ここからの作業は同様に行ってください。



②　自己融着テープを巻いた上からさらに、ビニールテープを巻いて仕上げます。



③　耐熱保護チューブを燃料噴射装置信号コード接続部分に寄せ、コード接続部分と共にビニールテープで巻いて仕上げます。耐熱保護チューブの反対側もテープを巻いておきます。



④燃料噴射信号用コードの取り回し

①　フロントカウル下の写真の位置から、燃料噴射信号コードを通すため、針金を通します。



②　灰色の燃料噴射信号コードの端子部分と針金の先端をビニールテープで繋ぎます。多少引っ張っても取れないようにしてください。



③　針金を引っ張り、コードを通したら、コードが遊ばないように結束バンドで数カ所止めてください。

　以上で燃料噴射装置へのコードの配線は完了です。各部品を取り外しと逆の順序で取り付けてください。カプラーの接続も忘れずに･･･



6．外装部品の取り外し（回路部本体関係）

①ウインドスクリーンガーニッシュの取り外し

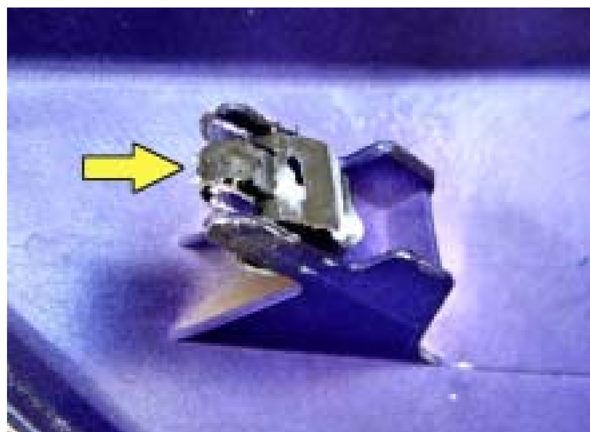
① ウインドスクリーンガーニッシュを止めているスクリュ2本を外します。スクリュはこれだけですが、スナップフィットクリップが左右合計4箇所あります。



② スナップフィットクリップはウインドスクリーンガーニッシュの左右上部2箇所とヘッドライトの上部2箇所の合計4箇所です。左右上側のスナップフィットクリップからの方が外しやすいです。



③ スナップフィットクリップとは右の写真のようなものです。金属を折り曲げてバネのようになっていて、そのバネの力で外装部品を固定するようになっています。写真で見てわかるように、スナップフィットクリップが取り付けられているプラスチック部はあまり丈夫にできていません。斜めに力を加えて引き抜くと、プラスチック部が折れる恐れがありますので、垂直に引き抜いてください。



④ 指をこんな風にかけて手前に引くと外すことができます。



⑤　ウインドスクリーンガーニッシュの下部はフロントカウルにこのように挟まっています。



②メータバイザの取り外し

①　メータバイザは写真の場所に3本、反対側に3本の計6本のスクリュで取り付けられています。それぞれ緩めて、メータバイザを取り外します。取り付けのときには、このスクリュの受けの部分がゴムでできているので、あまり強く締め付けないようにします。



③フロントメータパネルの取り外し

①　フロントメータパネルは写真の3箇所のスクリュで固定されています。それぞれ緩めて取り外します。真ん中のスクリュの受けはプラスチックなので取り付けるときは締めすぎに注意してください。



②　スクリュを外したら、フロントメータパネルの下部を持ち上げて取り外します。



③　フロントメータパネルの上部はリヤメータパネルと突起によって固定されているので、注意して外してください。



④ハンドルフロントカバーの取り外し

①　ハンドルフロントカバーを固定しているスクリュを、5mm六角レンチを使って取り外します。



②　スクリュを外したら、ハンドルフロントカバーのケーブルを止めているアーチ状になった部分を取り外します。窪みに入っているので少し上に持ち上げながら外します。残ったハンドルフロントカバーは少し上に持ち上げておくと後の作業が楽になります。



⑤コンソールボックスの取り外し

①　コンソールボックスを開け、一杯まで手前に開いたら、写真のピンを押すとさらに手前に引くことができ、そのまま取り外すことができます。



⑥メータパネルカバーの取り外し

① コンソールボックスを取り外した内部の右側上部にメータパネルカバーを取り付けているスクリュがあるので外します。



② メータパネルカバーの写真の部分を持ち上げると外れてきます。このとき、ハンドルフロントカバー（メータパネルカバー上部のクロムメッキの部品）を上に持ち上げておくとぶつかりません。



③ メータパネルカバー前部は写真のように組まれているので、壊さないように取り外します。



⑦リヤメータパネル（メータ部分）の取り外し

① リヤメータパネルを取り付けているスクリュのうち、フロント側にある2本を外します。写真の矢印の位置と左右対称の位置にもう1本のスクリュがあります。



②　コンソールボックスを取り外した内部の左側にあるスクリュを取り外します。



③　リッドオープンボックス内部にあるスクリュを取り外します。これでスクリュの取り外しは終わりです。



④　リヤメータパネル内部にはスナップフィットクリップとゴムブッシュによって止められています。写真のように後部を持ち上げるとそれらが外れ、持ち上がってきます。



⑤　スナップフィットクリップとゴムブッシュは写真の矢印の位置にあります。右側にもあります。注意して引き抜いてください。



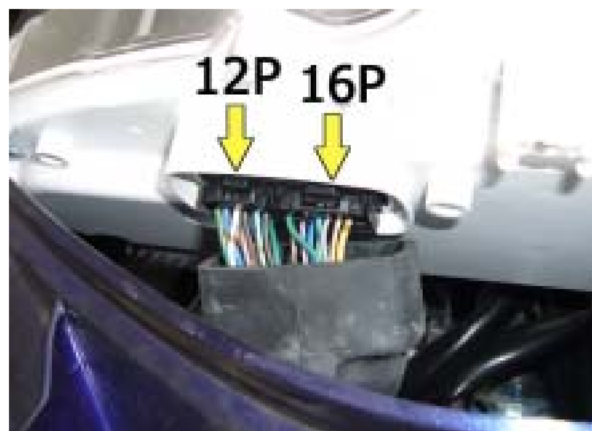
⑥　リヤメータパネルの後ろの部分が外れたら、前部を持ち上げていきます。写真の矢印の部分が引っかかりますので、騙し騙し持ち上げてください。



⑦　リヤメータパネル前部を持ち上げると、ゴムカバーが見えてきます。



⑧　ゴムカバーを下にずらすと、内部はコネクタになっています。１２ピンと１６ピンの２つのコネクタがあります。



⑨　手前にあるストッパーを押しながら、２つ共外します。



⑩　コネクタを外したら、リヤメータパネルの前部を持ち上げるように、前方に引くと、リヤメータパネルを外すことができます。ハンドルフロントカバーが当たるので、傷を付けないように気をつけてください。



7. 回路部本体ボックスの取り付け

①　本体は風通しが良く、雨の当たらないなるべく平らな場所ならどこに取り付けても良いのですが、この説明書では例として、フロントカウル内右側のリッドオープンボックス上部に平らな場所があるので（写真、矢印の場所）、そこに取り付ける際の方法を説明します。付属コード類はこの場所に付けた場合を想定して、長さを調整してあるので、他の場所に取り付けた場合はコードを延長する必要があるかもしれません。



②　写真のように、回路部本体ボックスを両面テープで貼ります。回路基板から出るコードが、車体外側に向くように取り付けます。



8. 電源･スピードパルスコードの接続

① フロントカウル内中央部に、空きコネクタを束ねたものがあります。この中の、赤いコネクタに、＋12V、アース、スピードパルス信号が来ているので、これを利用します。おそらくこのコードは、オプションのオーディオ装置用と思われるので、オーディオをすでに取り付けている場合は、分岐用コネクタ等を使って、分岐させてください。



② コネクタを束ねているテープを剥がします。



③ 赤以外のコネクタは元のように、束ねて固定しておいてください。



④ 付属しているコード1のコネクタを接続します。同じ形のコネクタなので、差し込むだけです。
一応、赤に青線⇔赤、緑⇔黒、桃色に緑線⇔白 と、それぞれのコードが対になっているか確認してください。



9．モードスイッチコード･ウインカー信号コード･ヘッドライトリレーコードの接続

①　フロントカウル内、右側下に、いくつかのコネクタの入った半透明のゴムカバーがあります。



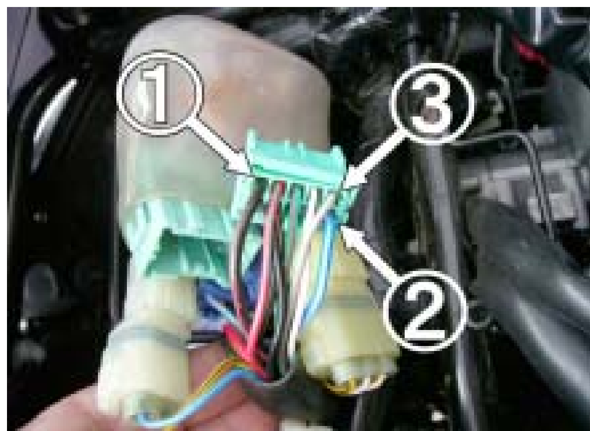
②　この中の、薄緑色のコネクタが、右ハンドルスイッチのコネクタです。



③　写真矢印のコネクタをロックしているツメを押しながらコネクタを外します。



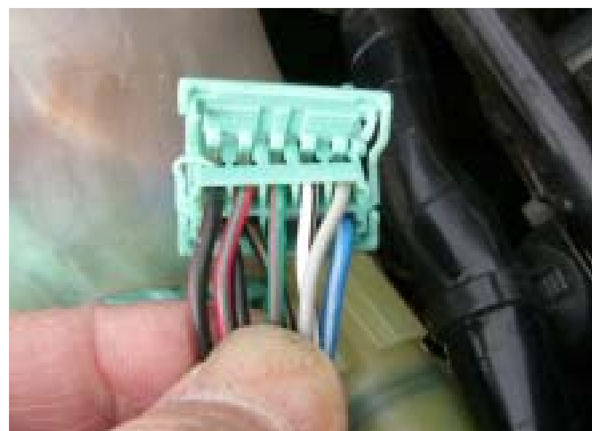
④　外した下側のコネクタ（ハンドルから来ている方）をロックのツメを下に向けた状態で下から見て、写真矢印のコードをコネクタから外します。黒に赤線の入ったコード①と青に白線の入ったコード②がモードスイッチ用に、灰色のコード③がウインカーブザー用に使用されます。



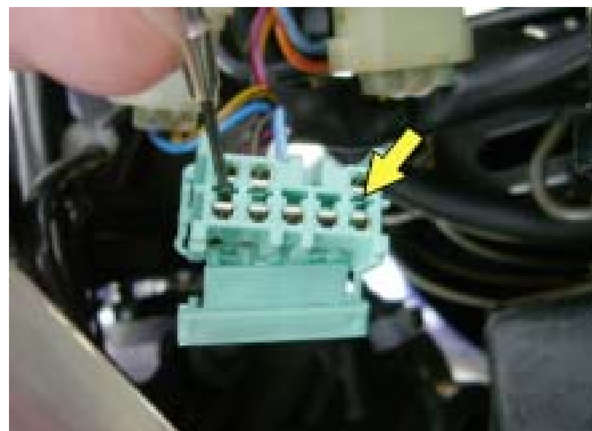
⑤　まず、ピンの抜け防止カバーを写真のように細いドライバーを差し込んで外します。外すときに、カバー落脱防止用にひも状の細いプラスチックがあるので、切らないようにしてください。ちなみに私は切ってしまいました。



⑥　外すとこのようになります。両側外してください。



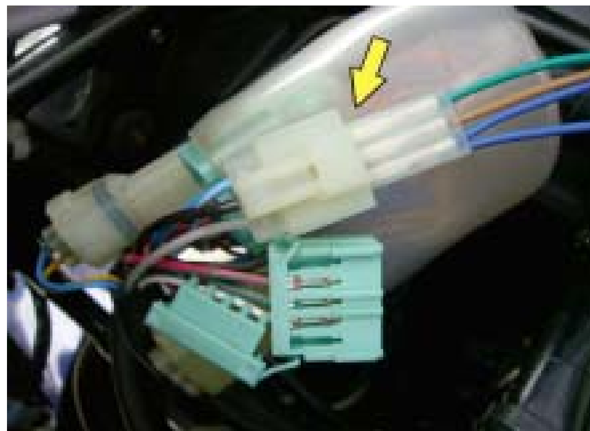
⑦　黒に赤線のコード、青に白線のコード、灰色のコードの3本を外します。例としてピンを固定しているツメの場所を矢印で示しましたので、それぞれのピン固定ツメを押しながらピンを引き抜いてください。ツメが確実に外れていれば、ピンはそれほどの力を入れなくても抜けてきます。



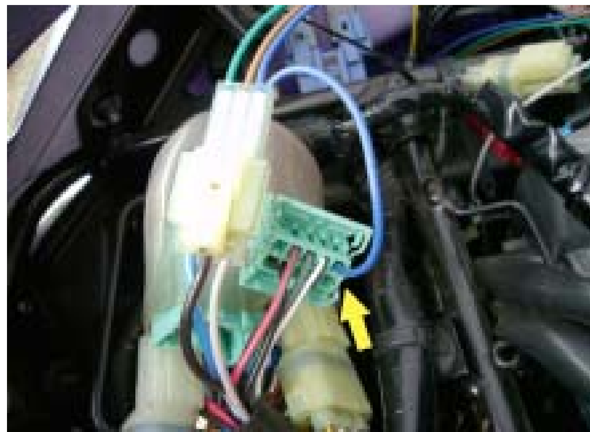
⑧　付属しているコード2の緑・茶・青のコードの先端に空3Pコネクタが付属していますので、コネクタを外し、コネクタのロック部分を上にして、⑦で外したコードを左から、青に白線のコード、黒に赤線のコード、灰色のコードの順にコネクタに差し込んでください。軽く引っ張り抜けないことを確認してください。



⑨　付属しているコード2の3Pコネクタと接続します。
　一応、青に白線⇔緑、黒に赤線⇔茶、灰色⇔青　とそれぞれが対になっていることを確認してください。



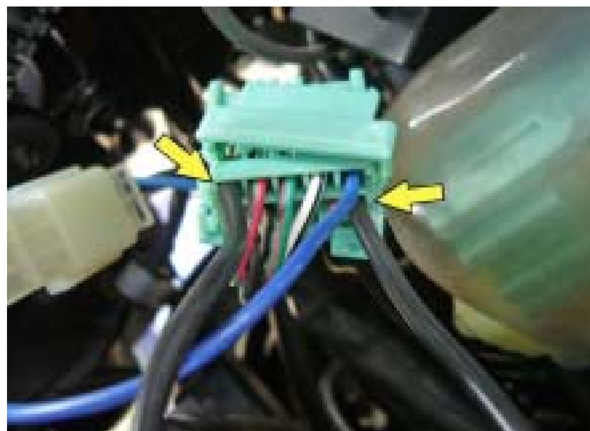
⑩　コード2の3Pコネクタから、青色のコードが分岐しているので、このコードのピンを薄緑色のコネクタの灰色のコードが刺さっていた箇所に差し込みます。これはウインカーブザー用信号の分岐になります。



⑪　ヘッドライトリレーコネクタの付いたコード3から出ている黒色のコード2本を、薄緑色コネクタの黒に赤線のコードと青に白線のコードを抜いた場所に差し込みます。極性はありませんからどちらに差してもかまいません。



⑫　写真のように差し込み、抜けないか、軽く引っ張って確認してください。
　以上でこの部分は終了ですので、コネクタのピン抜け防止カバーを戻し、コネクタを元通り接続します。



10. エンジン点火信号コードの接続

① メータに接続している12Pと16Pのコネクタを覆っているゴムカバーがありますので、このカバーを止めているビニールテープを剥がします。



② コード2の黄色のコードをゴムカバーの下の隙間から差し込み、コネクタ側に出します。



③ 12Pコネクタの青に黄色線のコードがエンジン点火信号のコードですので、これにコード2の黄色のコードを接続します。市販の分岐用結線コネクタ品を使っても良いのですが、ここでは確実なハンダ付けをしています。
写真の部分のビニール被覆をカッターで取り除きます。内部の芯線を傷つけないように、丁寧に剥きます。



④ 写真のように7～8mm程度剥きます。



⑤　黄色のコードの芯を剥き、青に黄線のコードのビニールを剥いた場所に絡ませます。



⑥　絡ませた部分をハンダ付けします。



⑦　ハンダ付けした部分に、燃料噴射信号コード接続で半分残った自己融着テープを巻きます。市販の分岐用結線コネクタを使用した場合も、防水処置としてテープ巻きをしてください。



⑧　最後にビニールテープを巻き、仕上げます。



⑨　出来上った様子です。コネクタのゴムカバーを元のように被せ、ビニールテープで固定しておきます。



11. ヘッドライト非常点灯スイッチの取り付け

①　ここでの取り付けはﾘｯﾄﾞオープンボックス内部にスイッチを取り付ける方法を説明します。後でわかったことですが、この場所に取り付けると、ﾘｯﾄﾞオープンボックスを取り外すそうとしたときに、このスイッチが邪魔になり、取り外せなくなります。

回路部本体ボックスの前方の適当な位置に、ドリルで穴を開けます。

なお、ﾍｯﾄﾞライト非常点灯スイッチについては、取扱説明書の「7. ヘッドライト非常点灯スイッチについて」(12ページ) をご覧ください。



②　ﾍｯﾄﾞライト非常点灯スイッチが入るように、ヤスリ又はリーマで穴を広げます。直径約13mmの穴に仕上げます。



③　このように穴を開けます。



④　スイッチをリッドオープンボックス内部から穴に通し、ナットで止めます。



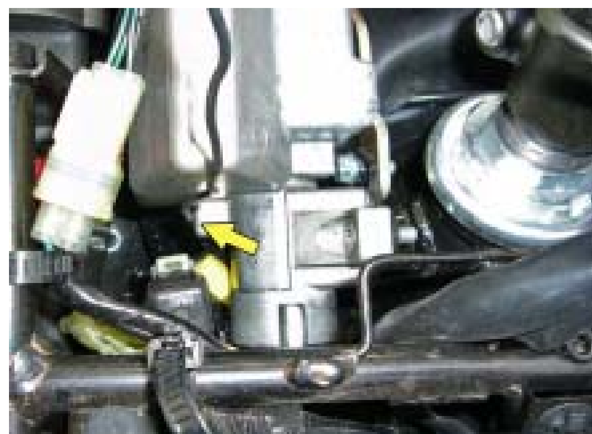
１２．温度センサの取り付け

①　温度センサは日差しや、雨に当たりにくい、風通しの良い場所なら、どこにつけてもかまいません。例として、フロントフェンダー上部にパイプがあるのでそこに取り付けた写真を参考にしてください。
　温度センサの先端（左の矢印）から３～４cmの部分で、結束バンド（右の矢印）を使って取り付けています。



13. 燃料噴射信号コードの取り回し

① 燃料噴射信号コードはフロントカウル内のハンドルロックモジュール前部付近から上に引き上げます。写真は、針金を使って上部に引き上げる様子です。この場所でなくてもかまいませんが、ハンドル操作などでコードが擦れないような場所に通してください。



② コードを引き上げたら、付属のコード保護チューブ(50cm)を被せ、上部をテープで止めておきます。下にある耐熱保護チューブとの間に隙間がないようにします。



③ コード2にある灰色のコードの端子と接続しておきます。



④ 念のため、ビニールテープで巻いておきます。



⑤　コード1（赤・黒・白）には35cmの保護チューブを被せます。コード2（黄・青・灰・茶・緑）には40cmの保護チューブを被せますが、黄色は途中から、また、灰色には被せません。コード3（桃・水色・黒）には50cmの保護チューブを被せますが、黒2本のみに被せます。



１４．コネクタの接続

①　ツーリングモニタ回路部の１０Ｐコネクタに液晶表示部のコネクタを差し込みます。ややかたく、コードが細いので、コードを切らないように注意して差してください。コネクタには溝と突起があるので合わせます。
　接続したら、写真のように液晶表示部のコードを取り回して、ツーリングモニタ回路部を本体ボックスに収めます。



②　コード1の４Ｐコネクタ、コード2の６Ｐコネクタ、温度センサの３Ｐコネクタ、ヘッドライトリレーへの２Ｐコネクタ、ヘッドライト非常点灯スイッチへの２Ｐコネクタをそれぞれ接続します。
　ここで、一度メインスイッチを入れ、コントラストの具合を見てください。調整済みですが、見にくい場合は回路部の半固定抵抗で調整してください。（取扱説明書　６．コントラストの調整（12ページ）を参照してください。）まだ、**エンジンは回さないでください。**



③　見やすく調整できたら、写真のように蓋をして、ヘッドライトリレーの４Pコネクタを接続します。蓋が外れそうで心配なときは、ビニールテープで止めておきます。一応、止めておいたほうが良いと思います。



④　配線コードが入り乱れていると思いますので、付属の取り外し可能結束バンドで適当に束ねておきます。



⑤　液晶表示器は、写真のようにフロントカウルの穴から外側に出しておきます。



１５．動作チェック

① 接続が終わったら、リヤメータパネルに１２Ｐ、１６Ｐのコネクタを接続してリヤメータパネルを元に戻します。まだ、スクリュでの取り付けはしないでください。この状態で、動作チェックを行います。メインスタンドを立て、エンジンをかけて動きをチェックしてください。くれぐれも、走り出さないように注意してください。少しアクセルをひねって後輪を回すと、瞬間燃費計のグラフが動くと思います。正常に動けば完了です。スクリュで止め、次の液晶表示部取り付けに進んでください。
うまく動かないときは各部の接続をチェックしてください。それでもだめなときは、メールをください。



１６．液晶表示部の取り付け

① ここでは、フロントメータパネル上に取り付ける場合を説明します。液晶表示部は見やすい場所であれば他の場所でもかまいません。ただし、視線の移動が大きいと、見にくいばかりでなく危険でもあります。
写真のように、フロントメータパネルの中央に目印として糸を張り、テープで止めておきます。多少中央がずれてもかまわなければ糸はなくてもかまいません。上から約9cmの見やすい位置に付属の液晶表示部ステーを両面テープで貼り付けます。



② 液晶表示部をマジックテープで固定し、コードは付属のコード押さえで固定します。



１７. 完成した様子

① 以上で取り付けは完了です。スクリュを余らせないように組み戻してください。バッテリを取り外したり、メータへのコネクタを取り外すと、時計がリセットされるので、設定し直します。
大変お疲れ様でした。



② 初期にはこんな風にバックミラーの付け根に取り付けたこともありました。しかし、見るための視線移動が大きく、見にくいため、上記の場所になりました。見易さは一番です。



取付けに関しわからないところがありましたら
norikey@hotmail.com
までご連絡ください。